

議事録

名称	令和8年度 大島地区学校適正配置地元代表協議会（第5回）
開催日時	令和8年7月28日（火）19時00分～20時25分
開催場所	吉海学習交流館 大ホール
出席者	【委員】 会長 外19名（教育長、副教育長を含む） ※1名欠席（おおしま認定こども園宮窪地区代表） ※2名代理出席（おおしま認定こども園吉海地区代表2名）
	【その他】 なし（しまなみ振興課主幹（吉海・宮窪地域担当）欠席）
	【事務局】 今治市教育委員会、吉海地域教育課、宮窪地域教育課
傍聴者	—
議題	1 保護者アンケートの結果について 2 望ましい学校のあり方について 3 意見交換

議事録（要点筆記） 文中（※）は補足した内容

会長	本日は、第5回大島地区学校適正配置地元代表協議会にお集まりいただきありがとうございます。 事務局に、出席者数の報告を求める。
事務局	本日、傍聴希望はありません。 今回から、委員の交代があるため報告する。宮窪小学校PTAのお二人に代わり、令和7年度に委員だった矢野啓子様、村上理沙様に委員を交代する。また、宮窪地区自治会副会長は高橋剛様に交代する。 本日の出席者数は1名欠席の17名で、定足数に達しているため、会議が成立している。
会長	本日の会議録署名人を指名する。吉海地区自治会副会長矢野委員、おおしま認定こども園宮窪地区代表の藤森委員にお願いする。 （両名 了承）
会議	それでは、7月に保護者アンケートを実施した結果について、事務局からの報告を求める。 （事務局 資料1を説明）
会長	この内容について、ご意見・ご質問などないか。

	(委員 意見なし)
会長	それでは、望ましい学校のあり方について、協議会で出たこれまでの意見、施設見学会、保護者アンケート結果を踏まえた事務局からの説明を求める。
事務局	(事務局 資料2を説明：以下要約) 統合場所や学校のあり方は本協議会で検討するが、通学や児童クラブ等の詳細事項は統合準備会で協議する。 大島地区は将来的な児童数減少推移を踏まえ、早期の学校統合が望まれる。事務局は、各地域とのつながりを保つこと、施設の新しさや防災面、維持コスト、通学対応などを総合的に評価し、宮窪小学校への統合を推奨している。一方、吉海小学校は小中一貫教育の面で利点があるが、中学校教員の人員不足のため現在以上の小中連携は難しい状況や、吉海小学校校舎が宮窪小学校に比べて老朽化しているなどの課題がある。 児童数の減少を踏まえ、地域住民との交流を通じて社会性やコミュニケーション能力を育むことを重視する。小中連携やこども園との連携に加え、学校に地域連携拠点を設け、多様な大人と関わる機会を充実させる。両校の長所を取り入れ、小規模校の特色を生かし、地域資源を活用した探究学習や多様な交流活動が充実した新しい学校づくりを目指す。
会長	この内容について、ご意見・ご質問などあるか。
A委員	6月の大雨のとき、授業に支障がなかったか等、学校の状況が聞きたい。
B委員	吉海小学校では、陸地部から通勤する教職員が多い中、最初に陸地部から出勤してくる教員から、これからはしまなみ海道が通行止めになるらしいと連絡があり、その時点で学校には2名しか教職員がいなかった。宮窪小、大島中の状況も聞き取りした上で、吉海小では、その日は教職員数を確保できないと判断した。登校時間が最も早い児童は、既に7:15頃に到着しており、帰宅困難にならないよう、保護者に迎えをお願いし帰宅させた。その後、伯方方面の橋が止まるとわかり、各所と相談し臨時休校とした。
C委員	宮窪小学校は、校長も陸地部から通勤しており、しまなみ海道が通行止めになる可能性を認識しながら出勤した。後続の教員から橋を通れないと連絡が入ったり、5人出勤してきたりする間に、吉海小学校から電

	話が来た。既に児童の登校時間に入っていたため、通常通り学校を開け児童を受け入れた。 しかし、もしかしたら夕方ごろまで今治北IC間が封鎖される可能性もあったため、陸地部から通勤する教職員の安全を考慮し、昼から児童を下校させた。大島中学校はテスト期間のため昼までとの話だったので、ご兄弟等がいる家庭は児童を帰宅させても大丈夫と判断し、中学校に合わせる形で昼までとした。2日目も、教職員の通勤の安全を考慮して、午前までで下校した。
会長	今治から大島までは通行できたが、伯方・大三島方面へは通行止めになったため、学校に限らず混乱したことと思う。 他に、事務局からの説明に対してご意見はないか。
D 委員	吉海小学校は新耐震基準を満たしているのに、改修費 7 億円とはどのような改修を想定しての算出か。
事務局	こちらは、長寿命化のための工事であるため、雨漏りや外壁改修、トイレの改修等を想定している。これは、10～20年のスパンでどの学校でも実施しているものである。
会長	他に、ご意見はないか。
E 委員	吉海小学校の改修費用について、明細はあるか。
事務局	資料 2（4 ページ）教育環境としての統合校③の表の下に記載のとおり、長寿命化改修の基準単価に校舎面積をかけたものである。実際には、学校の実情ごとに必要な改修箇所が違うため、金額にも変動が想定されるが、標準的な単価で計算したものである。
F 委員	その改修費用は、結局、学校を継続するためには、どの学校・どの校舎でも同様にかかるコストであるとの認識で間違いはないか。それならば、統合場所の選定においてあまり考慮する必要はないかと思われる。
事務局	吉海小学校と宮窪小学校では、建築年度に大幅に差があり、校舎の状態も、耐震工事をしているとは言え、吉海小学校は古くなっている。校舎自体がいつまで保てるかという視点でも、将来、吉海小学校の方が建て替えに近い工事が必要になることは事実と思われる。宮窪小学校にも将来的には同様の改修費用がかかるが、校舎をより長く使える点は事実

	である。
F 委員	将来的には小中学校が同一校舎に入るなら、また新しい校舎を整備する必要があるのではないか。やはり、今、小学校にそこまで必要なのか引っかかる。将来的には、小中学校は同一校舎になる考えか。
会長	将来、大島地区の小中学校がどのような形態になっていくかは今後の話である。一足飛びに他島との学校統合をすることはないかと思われるが、現時点では、小中一貫校のために新校舎を建築するかどうかを含め、はっきりと決まっていない。
F 委員	改修費は学校維持のための必要経費としてこれだけかかるという旨を示しているのであり、統合場所選定にはそこまで関係ないということでよいか。
事務局	どの学校でも、必要になる費用ではある。
G 委員	もし統合になった場合に、廃校舎の有効活用方法は、現在、考えているか。
事務局	廃校になった施設をどう使うかについては、現時点で、教育委員会では案を持っていない。本協議会や、統合準備会、地域の人の意見等を含めて今後考えていくことになる。 市内の学校では、体育館などを社会体育で使っている例もあるため、今までの事例なども参考にしながら、今後の施設利用を考えていきたい。
G 委員	市内の学校には、(児童生徒が)多すぎるという小学校・中学校もあるが、そのような学校の児童生徒がこちらに来ることもできるのか。
事務局	校区が設定されており、校区内の学校に通うことが基本である。 (統合後は)小規模特認校制度や、デュアルスクールなどの制度を使い、他の地区から児童生徒を呼び込むことはできる可能性はある。
会長	他に、ご意見などはないか。
F 委員	アンケートの件について、吉海小学校保護者からの意見については、皆で考えていくとよいと思うが、その中で、教育委員会はどのような解釈をしたのかを聞きたい。せっかくアンケートを取って、この場で多く

	の意見を出したのに、何の返事もなければ、保護者の皆さんにどう話をしたらよいかわからない。どういう意見があるのか、率直に教えていただきたい。
事務局	吉海側からの意見を見て私が考えることとして、こども園と小中学校の連携メリットをすごく感じているのだと受け取った。また、給食センターが学校に近いと、温かい給食が食べられるといった要望（利点）が伝わってきた。吉海が大島の中心部であるというのも、一つの意見としてあると思われる。有事の際には、保護者の送迎がほぼ一か所で済むというのも、大きなメリットだと思う。教職員の通勤面でも、ICに近いと、より有利であるといったことも、重要な意見として認識している。
事務局	担当者としての意見であるが、吉海小学校で実施したアンケートは記述式であり、内容がかなり多岐にわたっている。今回の統合（協議）そのものに関わる内容と、統合準備会で具体的に決めていく内容、例えば、児童クラブやスクールバスについては、分けて整理している。皆様からの要望は、統合準備会で必要になるため、吉海小学校、宮窪小学校の両方の保護者に取ったアンケートと同様に、意見として受け止め、整理している。内容も引き続き検討していくものである。
D委員	吉海小学校には児童クラブがあるが、宮窪小学校にはないのか。仕事をしている保護者が多いので、児童クラブがなくなると大変困ると思う。統合校が宮窪になった場合はどうすることを考えているか。また、吉海小学校の金管バンドのような音楽関係や、体育などは、中学校の先生が教えてくれているとアンケートに書かれているが、この辺りがよくわからないので詳しく聞きたい。
会長	質問の内容を整理する。児童クラブについては、前回協議会で、宮窪小学校PTA会長から、宮窪小学校でも児童クラブの設置希望はあったが、運営のための人員が確保できず設置できなかった経緯があると報告があった。現在も、人員が確保できないという状況が続いているが、今回の場合はどうするのかという質問でよい。事務局からの説明を求める。
事務局	児童クラブについては、先日のこども園保護者を対象にした説明会でも意見が出た。吉海側の保護者からは児童クラブの設置・継続について心配しているという意見が出ている。説明会で事務局から説明した内容としては、児童クラブは吉海学習交流館などの施設に設置し、児童は、宮窪小学校からバスで吉海まで帰ってきて、児童クラブで過ごすという

	方向性を提案した。ただ、他の施設利用者との兼ね合いなどがあり、実現可能かは今後の検討内容である。場所についても、今後、宮窪小学校内部に児童クラブができない場合は、吉海地区で適当な場所を考える必要がある。児童クラブは、現代は無いと困る施設であるため、設置できるよう場所を確保していく。
事務局	補足説明する。吉海側の児童クラブの利用者は現在、20人以上であり、かなり活発に利用いただいている。そのため、吉海側で引き続き場所を確保し、継続していくことは前提に考えている。
会長	児童クラブで指導してくれる人が、吉海にはいるが、宮窪にはいないということである。指導してくれる人がいれば、宮窪でも設置できるということである。
H委員	宮窪地区では、夏休みに、就業式から始業式前日まで毎日、公民館で宿題教室を開催し、昼まで子どもを見てくれている。午後からは、家に帰り、兄弟で勉強したり、子ども同士で遊びに行ったりしている。平日、下校してからは、近所の友達などと集合し、遊びに行ける環境が整っているため、保護者としては児童クラブの必要性をあまり感じていない。知り合いの地域住民が多く、子どもを見守ってくれていて、子どもが何かをしていると、人伝手に連絡が来ることもある。宮窪では、安心して子どもを遊ばせられる環境ができているため、(私自身の感覚では)児童クラブに預けようという保護者は少なく、子ども自身も、児童クラブに行くのではなく、友達と好きな場所で遊ぶ方が良いと思う子もいると思う。
D委員	夏休みの宿題教室は、何時から何時までなのか。
H委員	8時半から、12時半までである。
D委員	昼食はどうしているのか。
H委員	昼食は、宿題教室から帰宅後、祖父母に頼むなどしている家庭がある。私は、仕事の昼休みの間に帰宅し、子どもに昼食を食べさせ、午後は子どもの意思によって遊びに行くなどさせている。そのため、あまり宮窪には児童クラブは必要ないと思う。
会長	宿題教室というのは、宮窪公民館の図書室で、ずっと以前から、ボラ

	ンティアの人が開いてくれているものである。
H委員	過去に、吉海まで保護者が送り迎えをする形なら、吉海の児童クラブに子どもを預けることができるが、利用するかというアンケートがあったが、保護者が送り迎えをするのは手間であり、意味がないと感じた。そのため、あまり利用者がいなかったのではないだろうか。
会長	吉海側について、現在児童クラブをしてくれている人が今後も続けてくれるなら、もし設置場所が変わっても、利用希望者が多ければ継続できると考えたのでよいと思う。
D委員	宮窪にも、宿題教室で子どもを見てくれる人がいるということは、児童クラブで指導できる資格を持っている人が来てくれたらいいということではないか。
H委員	宿題教室は、朝から昼までだから子どもを見てくれるのだと思う。宿題教室の人の事情はわからないが、夕方以降は忙しい人も多いと思うので、私なら、児童クラブでの勤務は難しいと思うかもしれない。
D委員	宿題教室は、終業式から始業式まで毎日なのか。
H委員	土、日曜日は休みだが、(私の家庭では)土日は部活やスポーツクラブなどがあるため、結局行けない。平日は毎日通える。
会長	次に、中学校の専科教員が小学校で指導してくれる時間があることについて説明願う。
事務局	小学校の先生で年齢・体力的に体育の指導が難しいなどの事情がある場合、中学校の体育教員が乗り入れ授業を行っている。現在、大島中学校の教員が吉海小学校で体育の指導を行っているが、統合校が宮窪小学校になって学校間の距離が開けば実施できなくなるわけではなく、時間割を調整して、体育教員の時間を確保することはできる。小学校での授業を十分に準備して、実施し、子どもを見届けるまで時間を確保できるため、授業ができなくなる心配はない。 愛媛県では、昨年、小学校の体育専科教員を多く採用する方針となった。中学校の教員が行けないから体育の先生がいらないのではなく、小学校内で体育の先生がつくように変わってきている。

事務局	金管バンドについての質問は、統合後の新しい学校で、どのように考えるかという内容である。統合後の学校でも、ぜひやりたいということであれば、活動していただくような形になる。統合準備会で、どういった学校にするかという点で、内容を深めていただきたい。
E 委員	宮窪小学校は新しいが、建設段階で将来は介護施設にする想定であったという旨の意見が、アンケート結果に書かれているようだが、これは事実か。
事務局	本協議会が始まった当初も、協議会メンバーの方から、大島内でそのような話が過去から伝わっているが事実かという質問を受けたことがあるが、そういった事実はない。あくまでも、学校施設として建築しているものである。
G 委員	資料 1 やアンケート結果の意見を見ると、利便性や小中連携、こども園との連携等を考えると、統合場所としては吉海小学校の方が良さそうに思うが、事務局が考える統合校案は、なぜ宮窪小学校案が採用されたのか経緯を知りたい。
事務局	繰り返しになるが、資料 2 事務局提案には、両校の特色、良い点をそれぞれ記載している。吉海小学校には、小中連携しやすいという良い点がある。宮窪小学校では、中学校等から距離は離れるが、それぞれの地域を巻き込む環境が作れ、大島全体で子どもを育てることができる。 このような点を含め、相対的に判断しているのが、教育環境としての統合校④というページである。小中一貫化という面では吉海小学校の方が大島中学校と隣接しており評価が高いが、交通安全のバランス、財政面、大島全体で子どもを育てる環境づくり等を加味し、宮窪小学校が統合校としてふさわしいと提案させていただいているところである。
会長	皆さん、様々な意見をありがとうございました。事務局からの提案を受け、皆さんの意見をいただき、時間も迫っているが、これから、協議会としての案をまとめるという作業がどこまでできるかというところである。今日は、皆さんの意見を伺って終わりにしたい。次回、意見書の素案を事務局に出していただき、皆さんに意見をいただくとしてよろしいか。今日、この場で意見を一つにまとめることは難しいと思っている。
I 委員	吉海小学校のプールが維持管理の面からなくなり、吉海小学校では、B&Gでプールの授業を行っている。どちらの学校に統合されても、吉海

	にはB&Gのプールがあるということを念頭に置き、このプールを活用できる体制を考えて欲しい。水泳は大事なものだと思う。活用できるようならいい。
会長	現在、宮窪小学校の児童もB&Gでプールの授業をしている。
B 委員	私も、水泳の授業はとても大事だと思っている。今年度、水泳の授業は5回を予定していたが、大雨のため4回しか実施できなかった。だが、5回できたとしても、水泳大会に出るほどの力を児童につけてやることはできない。スイミングにも行けない、授業回数も重ねられない。そのため、本校からは水泳大会に出せない。すごく寂しい。なので、もう少し回数を増やして、ちゃんとした泳ぎを身に付けた上で、大会等で活躍させてやりたい思いがある。
会長	授業の回数が決まっているものだろう。(だから、仕方がない面もあると理解する。)
B 委員	行こうと思えば、放課後にも泳ぐことができる。私が他の学校に勤務していた時は、5月から水泳大会のために毎日練習していた。
J 委員	自治会の立場で言えば、それぞれの地域に学校を置いて欲しいと思うのは、当たり前のことと思う。廃校の利活用方法はまだ考えていないと伺った。統合後の数年間は、特別枠的に様々な要望を聞いてもらえるかもしれないが、年月が経ち、他の学校と扱いが変わらなくなると、要望を聞いてくれなくなるということがないようお願いしたい。
会長	それでは、次回協議会の開催日を決めたい。 (日程調整)
事務局	次回は9月15日火曜日午後6時30分から宮窪公民館とさせていただきます。
会長	長時間にわたり誠にありがとうございました。 これもちまして、第5回大島地区学校適正配置地元代表協議会を開会する。

以上、会議の次第を記し、その相違ないことを証するため署名する。

令和8年 8 月 13 日

矢野（日）委員 矢野 日出男

藤森 委員 藤森 麻里子